

福祉サービス第三者評価結果報告書【令和4年度】

年 月 日

東京都福祉サービス評価推進機構
公益財団法人 東京都福祉保健財団理事長 殿

〒
所在地

評価機関名

認証評価機関番号 機構 —
電話番号
代表者氏名 印

以下のとおり評価を行いましたので報告します。

評価者氏名・担当分野・評価者養成講習修了者番号	評価者氏名		担当分野	修了者番号
	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
福祉サービス種別	児童自立支援施設			
評価対象事業所名称				
事業所連絡先	〒			
	所在地			
	Tel			
事業所代表者氏名				
契約日	年	月	日	契約日を入力してください。
利用者調査票配付日(実施日)	年	月	日	利用者調査票配付日(実施日)を入力してください。
利用者調査結果報告日	年	月	日	利用者調査結果報告日を入力してください。
自己評価の調査票配付日	年	月	日	自己評価の調査票配付日を入力してください。
自己評価結果報告日	年	月	日	自己評価結果報告日を入力してください。
訪問調査日	年	月	日	訪問調査日を入力してください。
評価合議日	年	月	日	評価合議日を入力してください。
コメント (利用者調査・事業評価の工夫点、補助者・専門家等の活用、第三者性確保のための措置などを記入)				

評価機関から上記及び別紙の評価結果を含む評価結果報告書を受け取りました。
本報告書の内容のうち、

☐ 機構が定める部分を公表することに同意します。
☐ 別添の理由書により、一部について、公表に同意しません。
☐ 別添の理由書により、公表には同意しません。

年 月 日

事業者代表者氏名 印

1	理念・方針（関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）
	事業者が大切にしている考え（事業者の理念・ビジョン・使命など）のうち、特に重要なもの（上位5つ程度）を簡潔に記述 （関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定） 必ず入力してください
2	期待する職員像（関連 カテゴリー5 職員と組織の能力向上）
	（1）職員に求めている人材像や役割 必ず入力してください
	（2）職員に期待すること（職員に持って欲しい使命感） 必ず入力してください

調査対象

調査方法

利用者総数

共通評価項目による調査対象者数
共通評価項目による調査の有効回答者数
利用者総数に対する回答者割合(%)

アンケート	聞き取り	計
		0
		0
0.0	0.0	0.0

利用者調査全体のコメント

場面観察方式の調査結果

調査の視点：「日常生活で利用者の発するサイン(呼びかけ、声なき呼びかけ、まなざし等)とそれに対する職員のかかわり」及び「そのかかわりによる利用者の気持ちの変化」

評価機関としての調査結果

《調査時に観察したさまざまな場面の中で、調査の視点に基づいて評価機関が選定した場面》

有効回答数が3未満の場合は入力してください

《選定した場面から評価機関が読み取った利用者の気持ちの変化》

有効回答数が3未満の場合は入力してください

「評価機関としての調査結果」に対する事業者のコメント

有効回答数が3未満の場合は入力してください

--

利用者調査結果

コメント欄を必ず入力してください

共通評価項目	実数			
コメント	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
1. 食事の時間が楽しいひとときになっているか				
2. 楽しいと思う行事や活動はあるか				
3. 子どもの年齢や特性、個別事情に応じて生活の約束ごとの説明を受けているか				
4. 職員を信頼して話せるか				
5. 将来に関する支援は、子どもの個別の要望や事情に応じて行われているか				

6. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか				
7. 職員の接遇・態度は適切か				
8. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか				
9. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか				
10. 子どもの気持ちを受け止め、尊重した対応がされているか				
11. 子どものプライバシーは守られているか				
12. 個別の計画作成時に、利用者の状況や要望を聞かれているか				

13. サービス内容や計画に関する職員の説明はわかりやすいか				
14. 自らの権利について、さまざまな機会をとらえて職員はわかりやすく教えてくれたか				
15. 子どもの不満や要望は対応されているか				
16. 外部の苦情窓口（行政や第三者委員等）にも相談できることを伝えられているか				

I 組織マネジメント項目(カテゴリ1～5、7)

No.	共通評価項目	
	カテゴリ1	
1	リーダーシップと意思決定	
	サブカテゴリ1(1-1)	
	事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況
	評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を周知している	標準項目の「あり」「なし」を選択してください 評点()
	評価	標準項目
	☐ あり ☐ なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている ☐ 非該当
	☐ あり ☐ なし	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている ☐ 非該当
	評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている	標準項目の「あり」「なし」を選択してください 評点()
	評価	標準項目
	☐ あり ☐ なし	1. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任を職員に伝えている ☐ 非該当
	☐ あり ☐ なし	2. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任に基づいて職員が取り組むべき方向性を提示し、リーダーシップを発揮している ☐ 非該当
	評価項目3 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している	標準項目の「あり」「なし」を選択してください 評点()
	評価	標準項目
	☐ あり ☐ なし	1. 重要な案件の検討や決定の手順があらかじめ決まっている ☐ 非該当
	☐ あり ☐ なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している ☐ 非該当
	☐ あり ☐ なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えていく ☐ 非該当
	カテゴリ1の講評	カテゴリ1の講評を入力してください

2 事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行 サブカテゴリ1(2-1) 事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している 評価項目1 事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している 標準項目 1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向について情報を収集し、ニーズを把握している 2. 事業所運営に対する職員の意向を把握・検討している 3. 地域の福祉の現状について情報を収集し、ニーズを把握している 4. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)について情報を収集し、課題やニーズを把握している 5. 事業所の経営状況を把握・検討している 6. 把握したニーズ等や検討内容を踏まえ、事業所として対応すべき課題を抽出している			サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 標準項目の「あり」「なし」を選択してください ○あり ○なし ○非該当
サブカテゴリ2(2-2) 実践的な計画策定に取り組んでいる 評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画及び単年度計画を策定している 標準項目 1. 課題をふまえ、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画を策定している 2. 中・長期計画をふまえた単年度計画を策定している 3. 策定している計画に合わせた予算編成を行っている			サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 標準項目の「あり」「なし」を選択してください ○あり ○なし ○非該当
評価項目2 着実な計画の実行に取り組んでいる 標準項目 1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた、計画の推進方法(体制、職員の役割や活動内容など)、目指す目標、達成度合いを測る指標を明示している 2. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる			標準項目の「あり」「なし」を選択してください ○あり ○なし ○非該当
カテゴリ2の講評 カテゴリ2の講評を入力してください			カテゴリ2の講評を入力してください

3 経営における社会的責任		
サブカテゴリー1(3-1)		
社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況
評価項目1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知し、遵守されるよう取り組んでいる		標準項目の「あり」「なし」を選択してください 評点()
評価	標準項目	
○あり ○なし	1. 全職員に対して、社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などを周知し、理解が深まるように取り組んでいる	○非該当
○あり ○なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などが遵守されるよう取り組み、定期的に確認している。	○非該当
サブカテゴリー2(3-2)		
利用者の権利擁護のために、組織的な取り組みを行っている		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況
評価項目1 利用者の意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応する体制を整えている		標準項目の「あり」「なし」を選択してください 評点()
評価	標準項目	
○あり ○なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている	○非該当
○あり ○なし	2. 利用者の意向(意見・要望・苦情)に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある	○非該当
評価項目2 虐待に対し組織的な防止対策と対応をしている		標準項目の「あり」「なし」を選択してください 評点()
評価	標準項目	
○あり ○なし	1. 利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している	○非該当
○あり ○なし	2. 虐待を受けている疑いのある利用者の情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関と連携しながら対応する体制を整えている	○非該当
サブカテゴリー3(3-3)		
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況
評価項目1 透明性を高め、地域との関係づくりに向けて取り組んでいる		標準項目の「あり」「なし」を選択してください 評点()
評価	標準項目	
○あり ○なし	1. 透明性を高めるために、事業所の活動内容を開示するなど開かれた組織となるよう取り組んでいる	○非該当
○あり ○なし	2. ボランティア、実習生及び見学・体験する小・中学生などの受け入れ体制を整備している	○非該当
評価項目2 地域の福祉ニーズにもとづき、地域貢献の取り組みをしている		標準項目の「あり」「なし」を選択してください 評点()
評価	標準項目	
○あり ○なし	1. 地域の福祉ニーズにもとづき、事業所の機能や専門性をいかした地域貢献の取り組みをしている	○非該当
○あり ○なし	2. 事業所が地域の一員としての役割を果たすため、地域関係機関のネットワーク(事業者連絡会、施設長会など)に参画している	○非該当
○あり ○なし	3. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働できる体制を整えて、取り組んでいる	○非該当

	カテゴリー3の講評	カテゴリー3の講評を入力してください

4 リスクマネジメント サブカテゴリ1(4-1) リスクマネジメントに計画的に取り組んでいる 評価項目1 事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況 標準項目の「あり」「なし」を選択してください 評点()		
評価	標準項目	
○あり ○なし	1. 事業所が目指していることの実現を阻害する恐れのあるリスク(事故、感染症、侵入、災害、経営環境の変化など)を洗い出し、どのリスクに対策を講じるかについて優先順位をつけている	○非該当
○あり ○なし	2. 優先順位の高さに応じて、リスクに対し必要な対策をとっている	○非該当
○あり ○なし	3. 災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備え、事業継続計画(BCP)を策定している	○非該当
○あり ○なし	4. リスクに対する必要な対策や事業継続計画について、職員、利用者、関係機関などに周知し、理解して対応できるように取り組んでいる	○非該当
○あり ○なし	5. 事故、感染症、侵入、災害などが発生したときは、要因及び対応を分析し、再発防止と対策の見直しに取り組んでいる	○非該当
サブカテゴリ2(4-2) 事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている 評価項目1 事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況 標準項目の「あり」「なし」を選択してください 評点()		
評価	標準項目	
○あり ○なし	1. 情報の収集、利用、保管、廃棄について規程・ルールを定め、職員(実習生やボランティアを含む)が理解し遵守するための取り組みを行っている	○非該当
○あり ○なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・管理している	○非該当
○あり ○なし	3. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定するほか、情報漏えい防止のための対策をとっている	○非該当
○あり ○なし	4. 事業所で扱っている個人情報については、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえ、利用目的の明示及び開示請求への対応を含む規程・体制を整備している	○非該当
カテゴリ4の講評		カテゴリ4の講評を入力してください

5 職員と組織の能力向上		
サブカテゴリ1(5-1)		
事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成・定着に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況
評価項目1 事業所が目指していることの実現に必要な人材構成にしている		標準項目の「あり」「なし」を選択してください 評点()
評価	標準項目	
☐ あり ☐ なし	1. 事業所が求める人材の確保ができるよう工夫している	☐ 非該当
☐ あり ☐ なし	2. 事業所が求める人材、事業所の状況を踏まえ、育成や将来の人材構成を見据えた異動や配置に取り組んでいる	☐ 非該当
評価項目2 事業所の求める人材像に基づき人材育成計画を策定している		標準項目の「あり」「なし」を選択してください 評点()
評価	標準項目	
☐ あり ☐ なし	1. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)が職員に分かりやすく周知されている	☐ 非該当
☐ あり ☐ なし	2. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)と連動した事業所の人材育成計画を策定している	☐ 非該当
評価項目3 事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる		標準項目の「あり」「なし」を選択してください 評点()
評価	標準項目	
☐ あり ☐ なし	1. 勤務形態に関わらず、職員にさまざまな方法で研修等を実施している	☐ 非該当
☐ あり ☐ なし	2. 職員一人ひとりの意向や経験等に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している	☐ 非該当
☐ あり ☐ なし	3. 職員一人ひとりの育成の成果を確認し、個人別の育成(研修)計画へ反映している	☐ 非該当
☐ あり ☐ なし	4. 指導を担当する職員に対して、自らの役割を理解してより良い指導ができるよう組織的に支援を行っている	☐ 非該当
評価項目4 職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる		標準項目の「あり」「なし」を選択してください 評点()
評価	標準項目	
☐ あり ☐ なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価と処遇(賃金・昇進・昇格等)・称賛などを連動させている	☐ 非該当
☐ あり ☐ なし	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、職場環境・健康・ストレスなど)を把握し、安心して働き続けられる職場づくりに取り組んでいる	☐ 非該当
☐ あり ☐ なし	3. 職員の意識を把握し、意欲と働きがいの向上に取り組んでいる	☐ 非該当
☐ あり ☐ なし	4. 職員間の良好な人間関係構築のための取り組みを行っている	☐ 非該当
サブカテゴリ2(5-2)		
組織力の向上に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況
評価項目1 組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組んでいる		標準項目の「あり」「なし」を選択してください 評点()
評価	標準項目	
☐ あり ☐ なし	1. 職員一人ひとりが学んだ研修内容を、レポートや発表等を通じて共有化している	☐ 非該当
☐ あり ☐ なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに話し合い、サービスの質の向上や業務改善に活かす仕組みを設けている	☐ 非該当
☐ あり ☐ なし	3. 目標達成や課題解決に向けて、チームでの活動が効果的に進むよう取り組んでいる	☐ 非該当

	カテゴリー5の講評	カテゴリー5の講評を入力してください

7		カテゴリー7	
事業所の重要課題に対する組織的な活動			
サブカテゴリー1(7-1)			
事業所の重要課題に対して、目標設定・取り組み・結果の検証・次期の事業活動等への反映を行っている			
評価項目1 事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その1)			
前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)			入力してください
目標の設定と取り組み	☐ 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った ☐ 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった ☐ 具体的な目標が設定されていなかった		
取り組みの検証	☐ 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った ☐ 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった(目標設定を行っていなかった場合も含む) ☐ 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である		
検証結果の反映	☐ 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた ☐ 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない ☐ 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である		
評価項目1で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評			入力してください
評価項目2 事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その2)			
前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)			入力してください

目標の設定と 取り組み	☐ 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った ☐ 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった ☐ 具体的な目標が設定されていなかった
取り組みの検証	☐ 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った ☐ 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった（目標設定を行っていなかった場合も含む） ☐ 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
検証結果の反映	☐ 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた ☐ 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない ☐ 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
評価項目2で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評 入力してください	

Ⅱ サービス提供のプロセス項目（カテゴリー6-1～3、6-5～6）

No.	共通評価項目		
	サブカテゴリー1		
1	サービス情報の提供	サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況	
	評価項目1 子どもや保護者等に対してサービスの情報を提供している	標準項目の「あり」「なし」を選択してください 評点()	
	評価	標準項目	
	☐ あり ☐ なし	1. 子どもや保護者の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものにしている	☐ 非該当
	☐ あり ☐ なし	2. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している	☐ 非該当
	☐ あり ☐ なし	3. 子どもや保護者の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している	☐ 非該当
	サブカテゴリー1の講評		サブカテゴリー1の講評を入力してください

サブカテゴリー2		
2	サービスの開始・終了時の対応	サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況
評価項目1 サービスの開始にあたり子どもや保護者に説明し、理解を得るようにしている		標準項目の「あり」「なし」を選択してください 評点()
評価	標準項目	
☐ あり ☐ なし	1. サービスの開始にあたり、施設の基本的ルール(約束ごと)、権利擁護の取り組みをはじめとした重要な事項等を子どもや保護者の状況に応じて説明している	☐ 非該当
☐ あり ☐ なし	2. サービス内容について、子どもや保護者の理解を得るようにしている	☐ 非該当
☐ あり ☐ なし	3. サービスに関する説明の際に、子どもや保護者の意向を確認し、記録化している	☐ 非該当
評価項目2 サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている		標準項目の「あり」「なし」を選択してください 評点()
評価	標準項目	
☐ あり ☐ なし	1. サービス開始時に、子どもの支援に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している	☐ 非該当
☐ あり ☐ なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように支援を行っている	☐ 非該当
☐ あり ☐ なし	3. 入所以前の生活習慣等をふまえた支援を行っている	☐ 非該当
☐ あり ☐ なし	4. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、退所後の支援の継続性にも配慮している	☐ 非該当
サブカテゴリー2の講評		サブカテゴリー2の講評を入力してください

サブカテゴリー3			
3	個別状況に応じた計画策定・記録		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況
	評価項目1 定められた手順に従ってアセスメントを行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している		標準項目の「あり」「なし」を選択してください 評点()
	評価	標準項目	
	☐ あり ☐ なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	☐ 非該当
	☐ あり ☐ なし	2. 子ども一人ひとりのニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	☐ 非該当
	☐ あり ☐ なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	☐ 非該当
	評価項目2 子どもや保護者の希望と関係者の意見を取り入れた自立支援計画を作成している		標準項目の「あり」「なし」を選択してください 評点()
	評価	標準項目	
	☐ あり ☐ なし	1. 計画は、子どもの最善の利益を第一に、子どもや保護者の希望を適切に反映して作成、見直しをしている	☐ 非該当
	☐ あり ☐ なし	2. 計画を子どもにわかりやすく説明し、同意を得るようにしている	☐ 非該当
☐ あり ☐ なし	3. 計画は、見直しの時期・手順等の基準を定めたうえで、必要に応じて見直すとともに、緊急に支援内容を変更する必要がある場合の対応や計画変更のしくみを整備している	☐ 非該当	
評価項目3 子どもに関する記録を適切に作成する体制を確立している		標準項目の「あり」「なし」を選択してください 評点()	
評価	標準項目		
☐ あり ☐ なし	1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある	☐ 非該当	
☐ あり ☐ なし	2. 計画に沿った具体的な支援内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	☐ 非該当	
評価項目4 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している		標準項目の「あり」「なし」を選択してください 評点()	
評価	標準項目		
☐ あり ☐ なし	1. 計画の内容や個人の記録を、支援を担当する職員すべてが共有し、活用している	☐ 非該当	
☐ あり ☐ なし	2. 申し送り・引継ぎ等により、子どもに変化があった場合の情報を職員間で共有化している	☐ 非該当	
サブカテゴリー3の講評		サブカテゴリー3の講評を入力してください	

サブカテゴリー5		
5	プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重	
	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	
	標準項目の「あり」「なし」を選択してください	
	評価項目1 子どものプライバシー保護を徹底している	
	評点()	
	評価	標準項目
	☐ あり ☐ なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要がある場合には、子どもや保護者の同意を得るようにしている
	☐ あり ☐ なし	2. 個人の所有物や郵便物の扱い、居室への職員の出入り等、日常の支援の中で、子どものプライバシーに配慮した支援を行っている
	☐ あり ☐ なし	3. 子どもの羞恥心に配慮した支援を行っている
	標準項目の「あり」「なし」を選択してください	
評価項目2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、個人の意思を尊重している		
評点()		
評価	標準項目	
☐ あり ☐ なし	1. 「子どもの権利ノート」などにより、子どもの基本的人権について、日常生活の中でわかりやすく説明している	
☐ あり ☐ なし	2. 子どもが意見を表明しやすい環境をつくるなど、子どもの権利が守られるように取り組んでいる	
☐ あり ☐ なし	3. 子ども一人ひとりの価値観や生活習慣に配慮した支援を行っている	
☐ あり ☐ なし	4. 施設内の子ども間の暴力、いじめ等が行われないよう組織的に予防・再発防止策を徹底している	
☐ あり ☐ なし	5. 子どもの安全の確保等のため、行動に一定の制限を行う必要がある場合は、最善の利益になる場合にのみ適切に実施し、職員間で定期的に検証・検討を行っている	
サブカテゴリー5の講評		
サブカテゴリー5の講評を入力してください		

サブカテゴリー6			
6	事業所業務の標準化		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況
	評価項目1 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている		標準項目の「あり」「なし」を選択してください 評点()
	評価	標準項目	
	☐ あり ☐ なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	☐ 非該当
	☐ あり ☐ なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうかを定期的に点検・見直しをしている	☐ 非該当
	☐ あり ☐ なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	☐ 非該当
	評価項目2 サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている		標準項目の「あり」「なし」を選択してください 評点()
	評価	標準項目	
	☐ あり ☐ なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は改変の時期や見直しの基準が定められている	☐ 非該当
	☐ あり ☐ なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や子ども・保護者等からの意見や提案を反映するようにしている	☐ 非該当
サブカテゴリー6の講評		サブカテゴリー6の講評を入力してください	

Ⅲ サービスの実施項目(カテゴリ6-4)

サービスの実施項目		サブカテゴリ4	
サービスの実施項目		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	
1 評価項目1 個別の自立支援計画に基づいて、自立した生活が営めるよう支援を行っている		標準項目の「あり」「なし」を選択してください 評点()	
評価	標準項目		
☐ あり ☐ なし	1. 個別の自立支援計画に基づいて支援を行っている		☐ 非該当
☐ あり ☐ なし	2. 子どもの自己肯定感を高め、職員との信頼関係を築くために、子ども一人ひとりに合った方法で、受容的・支持的な関わりをしている		☐ 非該当
☐ あり ☐ なし	3. 退所後の安定した生活基盤の確保に向け、関係機関と連携をとって、リービングケア(退所後の生活を見越した支援)を行っている		☐ 非該当
☐ あり ☐ なし	4. 子ども一人ひとりの状況や意向に応じた退所後の支援を関係機関と連携して行っている		☐ 非該当
評価項目1の講評		評価項目1の講評を入力してください	
2 評価項目2 子どもの自立に向けて、さまざまな日常生活上の支援を行っている		標準項目の「あり」「なし」を選択してください 評点()	
評価	標準項目		
☐ あり ☐ なし	1. 子どものコミュニケーション力(人間関係構築力)が向上するよう支援を行っている		☐ 非該当
☐ あり ☐ なし	2. 基本的な生活習慣を確立するとともに、社会常識、社会規範及び生活知識・技術(家事、社会生活上のルール等)を身につけられるよう支援を行っている		☐ 非該当
☐ あり ☐ なし	3. 行事やスポーツ・文化活動を通じて、子どもの心身を育成し、達成感、協調性、責任感、忍耐力等を養えるよう支援を行っている		☐ 非該当
☐ あり ☐ なし	4. 子どもの状況に応じて、経済観念を身につけられるよう、金銭の管理や使い方について支援を行っている		☐ 非該当
☐ あり ☐ なし	5. 子どもが地域と交流できる機会を大切にしている		☐ 非該当
評価項目2の講評		評価項目2の講評を入力してください	

3	評価項目3 子ども一人ひとりに応じた学力向上・進路決定のための取り組みを行っている		標準項目の「あり」「なし」を選択してください 評点()	
	評価	標準項目		
	○あり ○なし	1. 学習環境を整備し、基礎学力の向上・学習習慣獲得のために、学校と連携をとって、支援を行っている	○非該当	
	○あり ○なし	2. 社会性や職業観を身につけられるよう、作業活動、職場見学等の支援を行っている	○非該当	
	○あり ○なし	3. 多様な選択肢を提示したうえで、子どもの最善の利益にかなった進路の自己決定ができるよう支援している	○非該当	
○あり ○なし	4. 個別に必要な時期に、自立に向けての社会経験を積めるよう支援している	○非該当		
評価項目3の講評 評価項目3の講評を入力してください				
4	評価項目4 子どもが楽しく安心して食事ができるようにしている		標準項目の「あり」「なし」を選択してください 評点()	
	評価	標準項目		
	○あり ○なし	1. 楽しい食事となるような環境を整えている	○非該当	
	○あり ○なし	2. 食事の献立は、子どもの状況(食物アレルギーや疾患等に関する主治医等の指示を含む)や嗜好に応じて工夫している	○非該当	
	○あり ○なし	3. 食習慣の確立や食についての関心向上のため、関係職員と連携して食育の推進に取り組んでいる	○非該当	
評価項目4の講評 評価項目4の講評を入力してください				

5	評価項目5		標準項目の「あり」「なし」を選択してください	
	子どもの健康を維持するための支援を行っている			
	評点()			
	評価	標準項目		
	☐ あり ☐ なし	1. 入所もない子どもの健康状態(口腔ケア、視力等)に配慮し、健康維持のための支援を行っている ☐ 非該当		
☐ あり ☐ なし	2. 健康に関して、子どもに理解を促す取り組みを行うとともに、子どもからの相談に応じ、必要に応じて子どもや保護者等に説明をしている ☐ 非該当			
☐ あり ☐ なし	3. 子どもの服薬管理は誤りがないようチェック体制の強化などのしくみを整えている ☐ 非該当			
☐ あり ☐ なし	4. 医療機関と連携しながら、日頃の健康管理を行い、子どもの体調に変化があったときには、速やかに対応できる体制を整えている ☐ 非該当			
評価項目5の講評 評価項目5の講評を入力してください				
6	評価項目6		標準項目の「あり」「なし」を選択してください	
	子どもの精神面でのケアについてさまざまな取り組みを行っている			
	評点()			
	評価	標準項目		
	☐ あり ☐ なし	1. 子どもが悩みや不安を相談できるように工夫している ☐ 非該当		
	☐ あり ☐ なし	2. 子どもの課題に応じて、心理的ケアが必要な場合は、関係職員・機関と連携をとって、支援を行っている ☐ 非該当		
	☐ あり ☐ なし	3. 性についての正しい知識と理解が得られるよう、子どもの状況に応じた説明を行っている ☐ 非該当		
☐ あり ☐ なし	4. 子どもが自分の課題に向き合えるよう、個別の状況に応じた支援を行っている ☐ 非該当			
☐ あり ☐ なし	5. 施設での生活における子どもの行動上の問題について、関係のある子どもも含めて対応している ☐ 非該当			
評価項目6の講評 評価項目6の講評を入力してください				

7 評価項目7		標準項目の「あり」「なし」を選択してください	
子どもの主体性を尊重し、施設での生活が快適になるよう支援を行っている		評点()	
評価	標準項目		
☐ あり ☐ なし	1. 居室等施設全体が、子どもにとって安心、安全で快適な居場所となるよう、子どもの年齢や状況に応じて配慮したものとなっている	☐ 非該当	
☐ あり ☐ なし	2. 日常生活や余暇の過ごし方は、子どもが主体的に考え、営むことができるよう支援している	☐ 非該当	
☐ あり ☐ なし	3. 行事やイベントの企画、運営等に子どもも関わっている	☐ 非該当	
☐ あり ☐ なし	4. 日常生活において、子どもが自主性を発揮できるよう支援を行っている	☐ 非該当	
☐ あり ☐ なし	5. 子どもが季節等に応じた清潔な衣服を身に付けられるよう支援している	☐ 非該当	
評価項目7の講評		評価項目7の講評を入力してください	
8 評価項目8		標準項目の「あり」「なし」を選択してください	
家族等との関係構築に向けた取り組みを行っている		評点()	
評価	標準項目		
☐ あり ☐ なし	1. 家庭支援専門相談員を中心に、家族等との関係構築のための支援方針が明確にされ施設全体で共有されている	☐ 非該当	
☐ あり ☐ なし	2. 保護者等との面会、外出、外泊等は、状況を把握したうえで、子どもの安全に注意しながら行っている	☐ 非該当	
☐ あり ☐ なし	3. 子どもの最善の利益を第一に子どもや保護者等の意向を確認しながら、関係機関と連携をとって、子どもと家族の関係調整に取り組んでいる	☐ 非該当	
☐ あり ☐ なし	4. 養育家庭や養子縁組等の制度が有効に活用されるよう児童相談所と連携をとっている	☐ 非該当	
☐ あり ☐ なし	5. 入所中の子どもの家族等に対し、退所後の生活を想定したさまざまな支援を行っている	☐ 非該当	
評価項目8の講評		評価項目8の講評を入力してください	

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目		
タイトル①		
内容①		

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目		
タイトル②		
内容②		

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目		
タイトル③		
内容③		

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	
	内容	
2	タイトル	
	内容	
3	タイトル	
	内容	
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	
	内容	
2	タイトル	
	内容	
3	タイトル	
	内容	